



2024年度版

「空飛ぶクルマ」の社会受容性等に関する アンケート調査結果について

(概要版)

2025年6月3日

MS&AD インターリスク総研株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

1. はじめに

本書は、下記背景のもと、弊社が2025年2月26日～3月3日に実施した「空飛ぶクルマ」の社会受容性等に関するアンケート調査結果の一部を取りまとめた概要報告書である。

背景

- ✓ 2018年より「空の移動革命に向けた官民協議会」が設置され、「空飛ぶクルマ」の政策や法整備の検討が進められている。
- ✓ 2025年開催「大阪・関西万博」にて空飛ぶクルマのデモ飛行が披露された。
- ✓ 居住区近くでの運航の他、中山間地域や離島での移動、観光、災害時の救助など様々なユースケースが想定される。



- ✓ 「空飛ぶクルマ」の社会受容性の観点から、利用者を含む社会が、官民の動向をどう受け止め、何を期待し、何に不安を覚えているか明らかにすることも重要であると考えられる。
- ✓ 弊社は、2020年10月、2021年12月と2024年2月の3回「空飛ぶクルマの社会的受容性等に関する調査」を実施している。
- ✓ 継続的な調査を通じて社会課題の解決に貢献するため、2025年2月に再度調査を実施した。

2. 目的

»目的 1

- ✓ 日常利用するモビリティに対する不満や期待を明らかにしつつ、「空飛ぶクルマ」に対する地域特性別の期待や不安・課題などを浮き彫りにする。

»目的 2

- ✓ 「空飛ぶクルマ」に対して、回答者の属性によって異なる意見等を持っているとの仮説のもと、期待や不安・課題などを浮き彫りにする。

»目的3

- ✓ 過去データと比較し経年変化を把握する。

3. アンケート概要（1）

✓ 本調査及び過去実施調査の概要を下記に示す。

	第1回	第2回	第3回	第4回
期間	2020年9月3日～6日	2021年8月2日～18日	2024年2月18日～26日	2025年2月26日～3月3日
対象	10代～70代以上の男女	15～89歳までの男女	15～89歳までの男女	15～89歳までの男女
方法	Webアンケート	Webアンケート	Webアンケート	Webアンケート
有効 回答	計1000人 男性500人 女性500人	計2000人 グループ①（東京都・大阪府）800人 グループ②（三重県・長崎県）800人 グループ③（その他）…400人 男性1000人 女性1000人	計2000人 グループ①（東京都・大阪府）800人 グループ②（長野県・大分県）800人 グループ③（その他）…400人 男性1000人 女性1000人	計2800人 グループ①（東京都・大阪府）800人 グループ②（長野県・大分県）800人 グループ③（山梨県・石川県）800人 グループ④（その他）…400人 男性1400人 女性1400人

3. アンケート概要（2）

»調査項目

- （1）日常利用するモビリティの課題と期待するソリューション
- （2）「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待
- （3）利用者としての期待・不安
- （4）社会としてのベネフィット・不安

»計54問

»回答者の属性

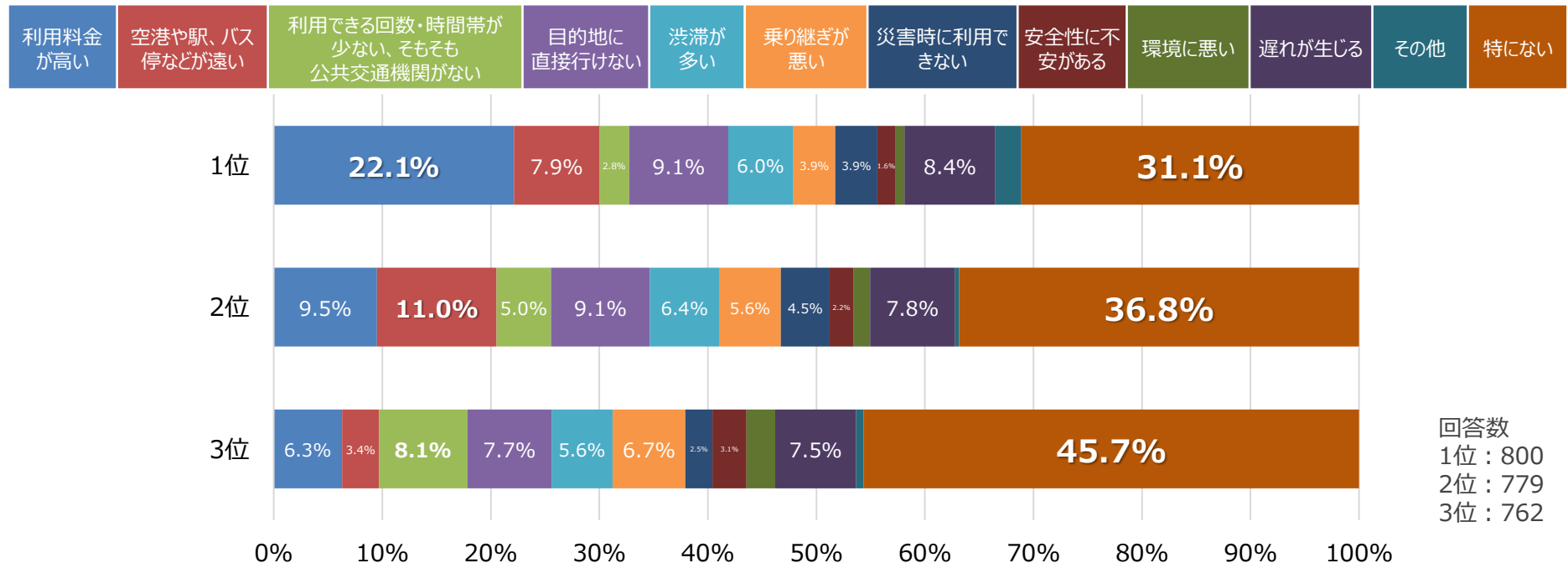
- （1）住所（都道府県）
- （2）性別
- （3）年齢
- （4）職業
- （5）年収

4. 調査結果 (1) 日常利用するモビリティの課題と期待するソリューションについて

1

あなたご自身が住まわれている地域で日常生活において移動する場合に利用される交通手段について不満に思っていることを3つ選んでください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (グループ① (東京都・大阪府))

- ✓ 東京都・大阪府は、「特にない」が1位の回答で最も多く、31.1%であった。
- ✓ 次に多いのは、「利用料金が高い」で22.1%となった。

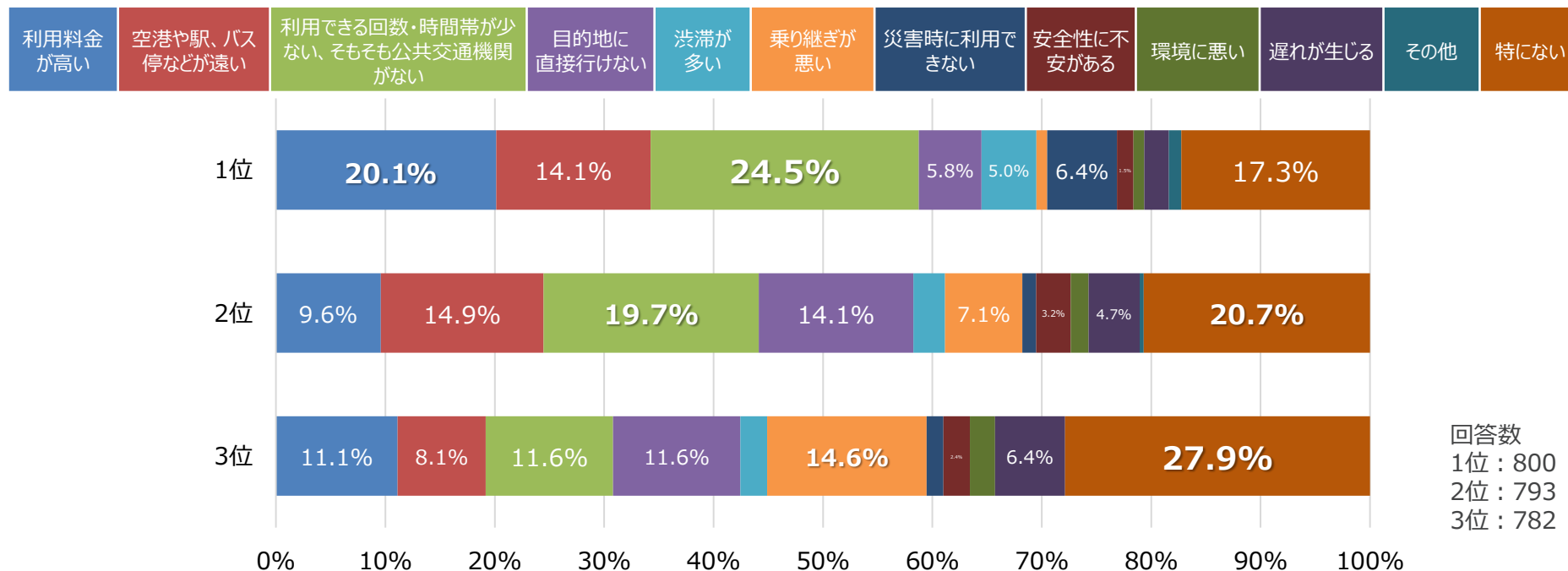


4. 調査結果 (1) 日常利用するモビリティの課題と期待するソリューションについて

1

あなたご自身が住まわれている地域で日常生活において移動する場合に利用される交通手段について不満に思っていることを3つ選んでください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (グループ② (長野県・大分県))

- ✓ 長野県・大分県では、「利用できる回数・時間帯が少ない、そもそも公共交通機関がない」が1位の回答で最も多く、24.5%となり、東京都・大阪の2.8%より21.7ポイント多かった。
- ✓ 次に1位の回答で多いのは、「利用料金が高い」の20.1%で、東京都・大阪府の22.1%より2.0ポイント少なかった。

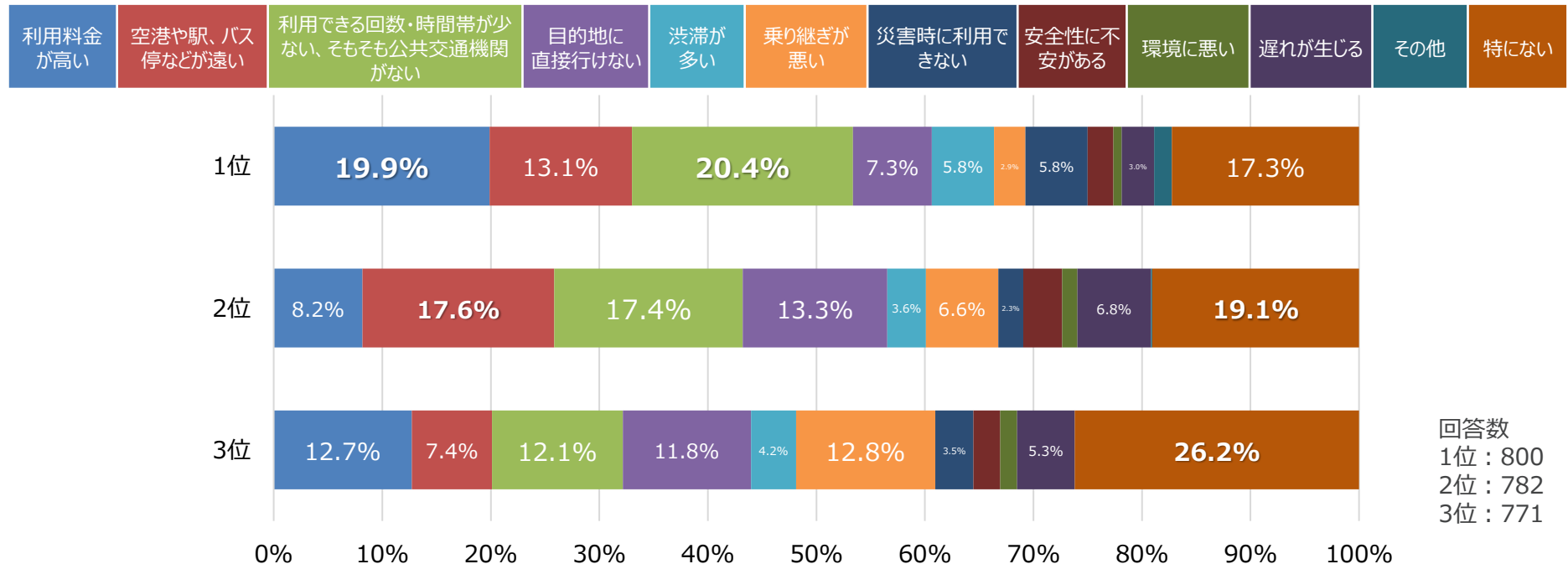


4. 調査結果 (1) 日常利用するモビリティの課題と期待するソリューションについて

1

あなたご自身が住まわれている地域で日常生活において移動する場合に利用される交通手段について不満に思っていることを3つ選んでください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (グループ③ (石川県・山梨県))

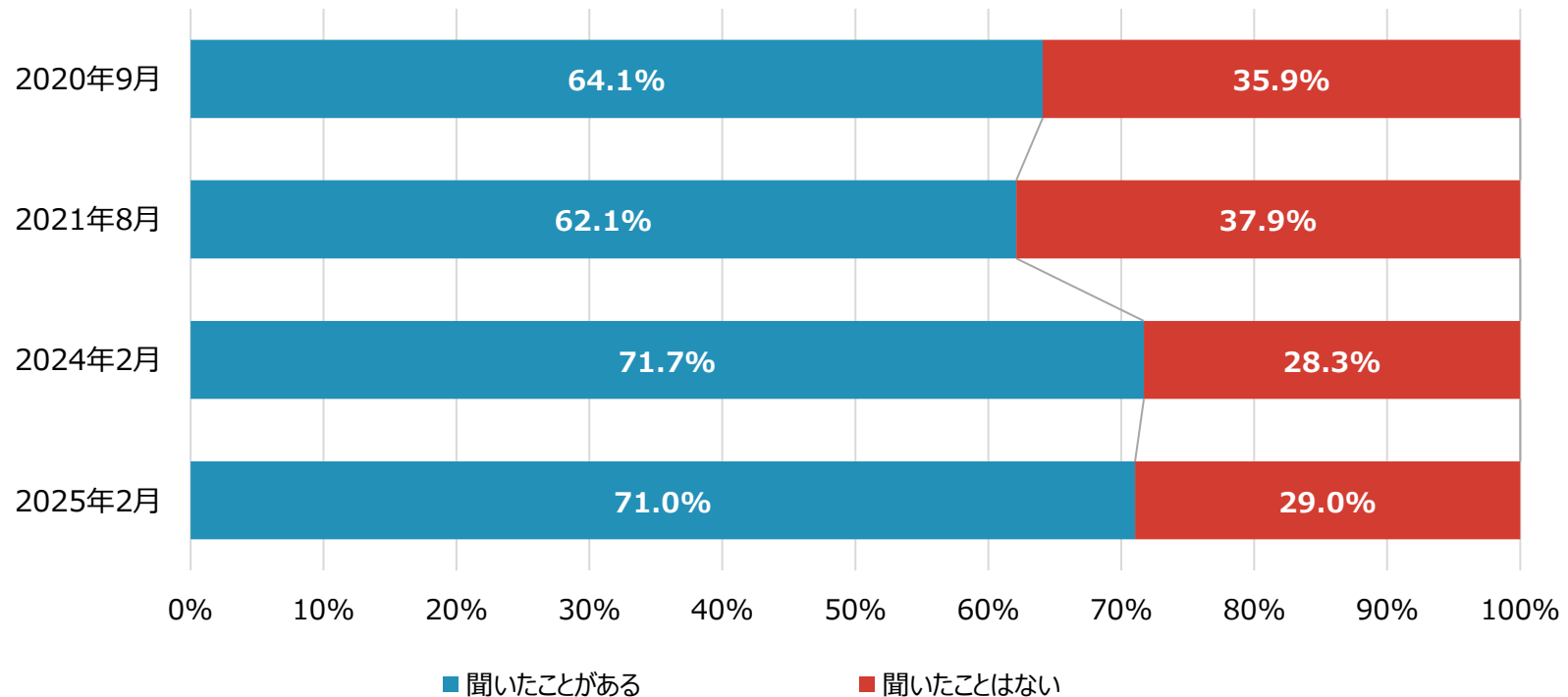
- ✓ 石川県・山梨県では、長野県・大分県同様に、「利用できる回数・時間帯が少ない、そもそも公共交通機関がない」が1位の回答で最も多く20.4%となり、東京都・大阪の2.8%と比較し17.6ポイント多かった。
- ✓ 次に多いのは、「利用料金が高い」の19.9%で、東京都・大阪府の22.1%より2.2ポイント少なかった。



4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

2 あなたは「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがありますか。(年別)

- ✓ 2025年2月調査にて「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがある回答者は71.0%であり、前回2024年2月調査と比較して横ばいであった。

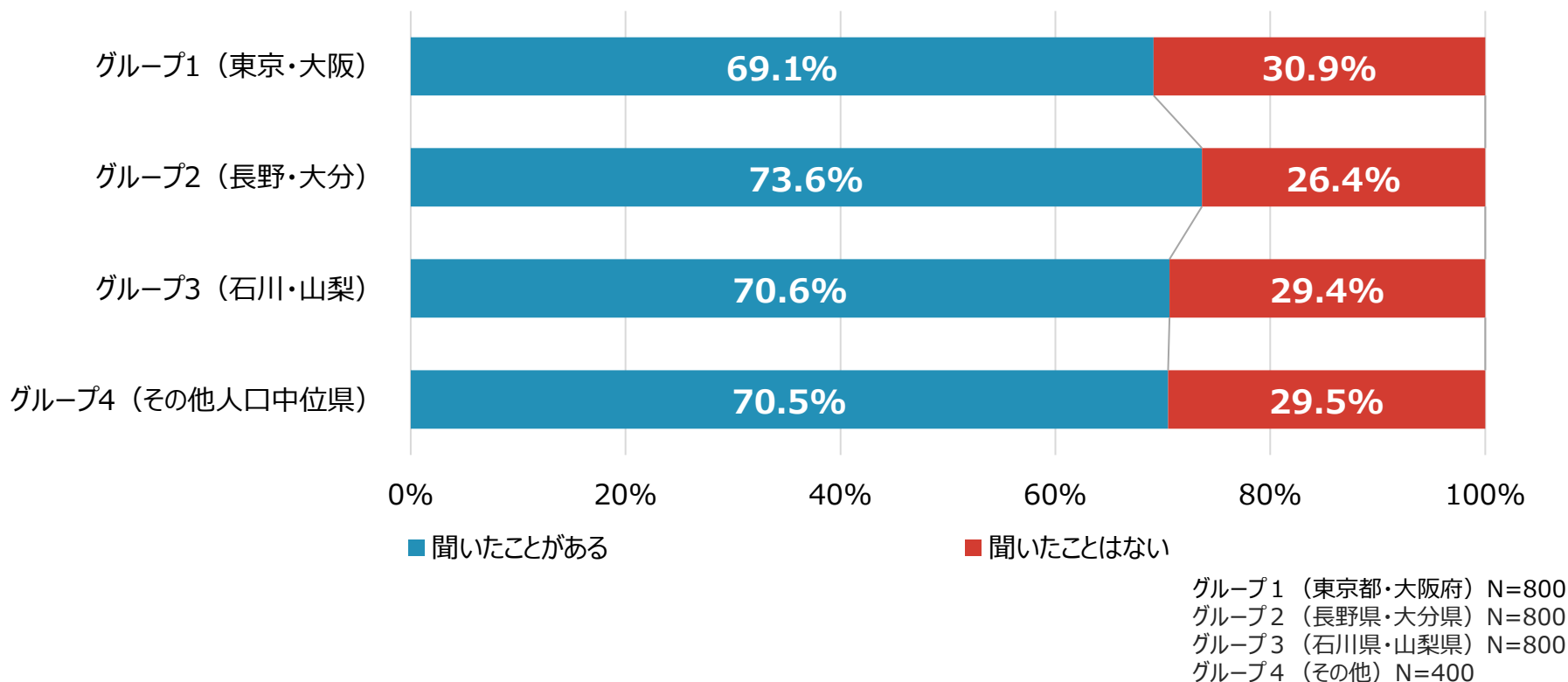


2020年9月 : N=1000
2021年8月 : N=2000
2024年2月 : N=2000
2025年2月 : N=2800

4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

2 あなたは「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがありますか。(地域別) (2025年2月調査)

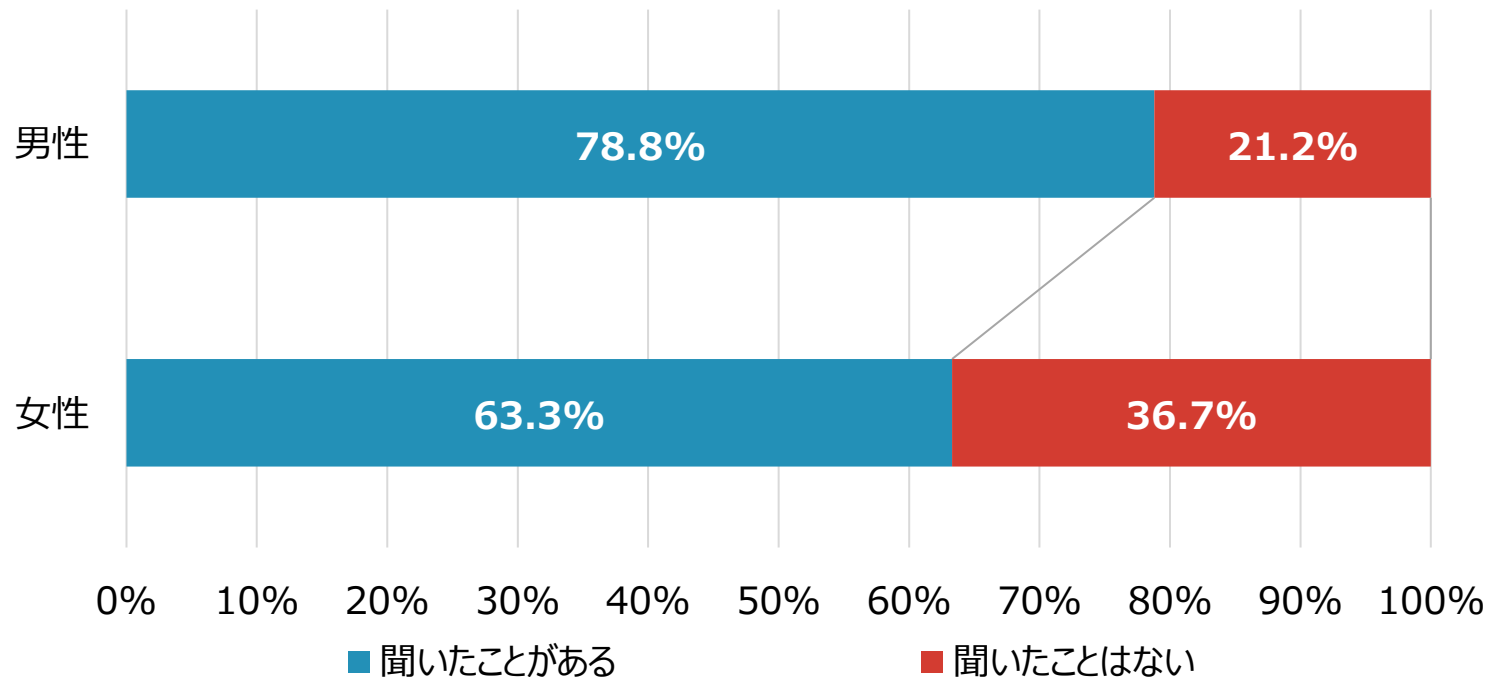
- ✓ 地域別では、「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがあると答えたのは、東京都・大阪府在住者69.1%、長野県・大分県在住者73.6%、石川県・山梨県在住者70.6%、その他地域在住者70.5%であった。



4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

2 あなたは「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがありますか。(性別) (2025年2月調査)

- ✓ 性別では、男性の78.8%が「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがあると答えたのに対し、女性は63.3%にとどまった。



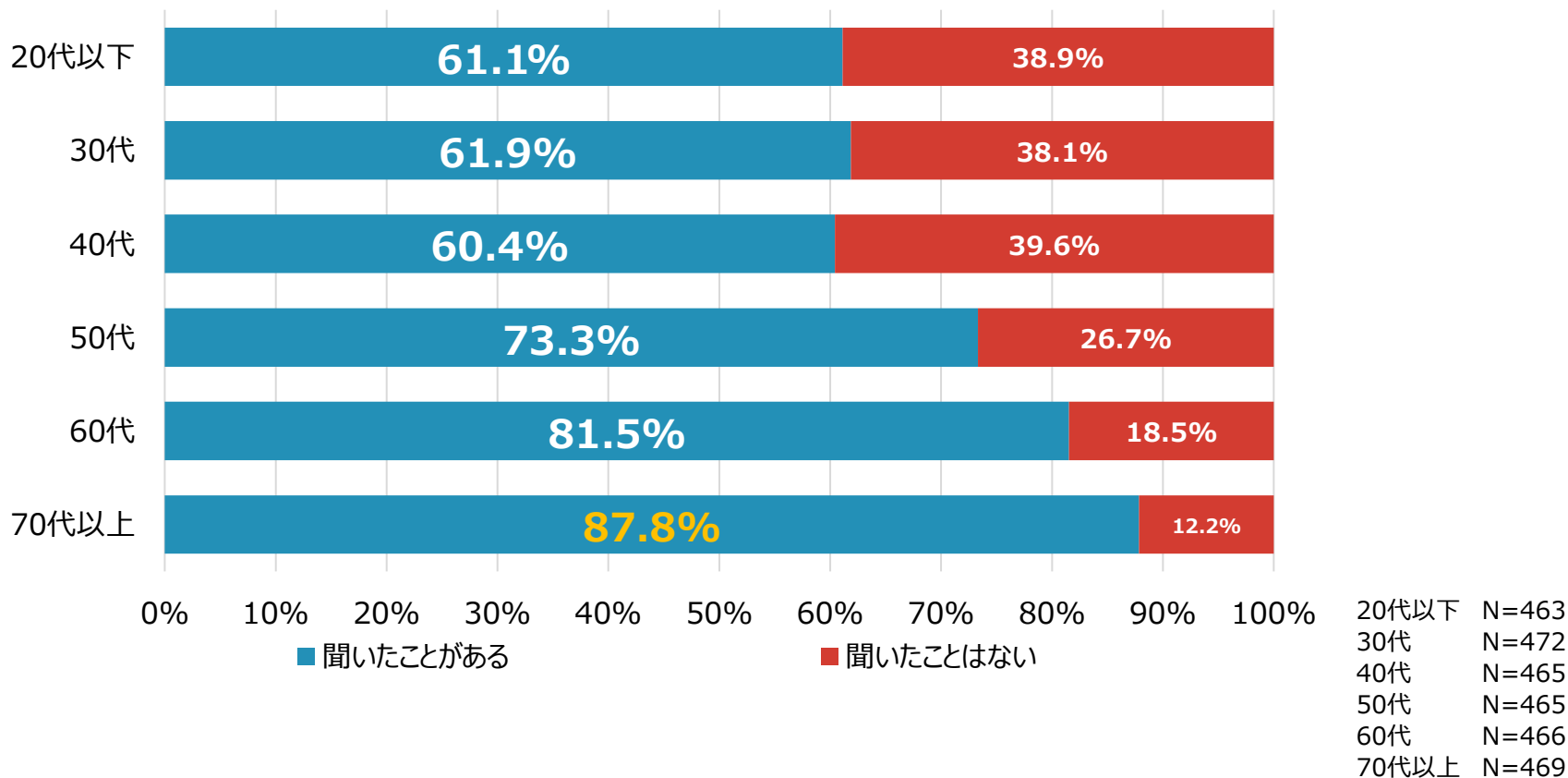
男性 : N=1400
女性 : N=1400

4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

2

あなたは「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがありますか。(年齢層別)
(2025年2月調査)

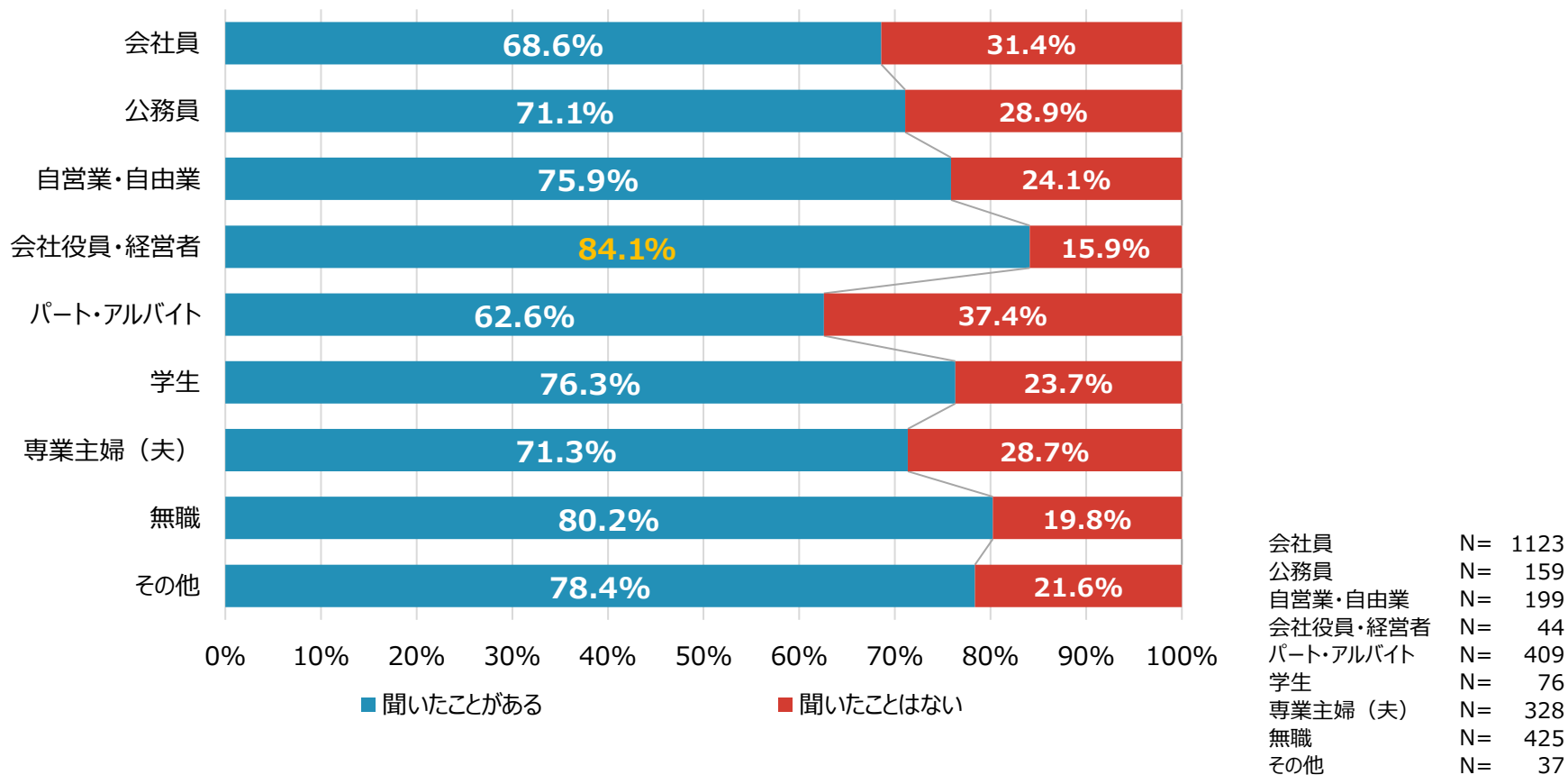
- ✓ 年齢層別では、「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがあると答えた割合が最も高かったのは70代以上（87.8%）であり、年齢層が高いほうが認知度が高い傾向となった。



4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

2 あなたは「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがありますか。(職業別) (2025年2月調査)

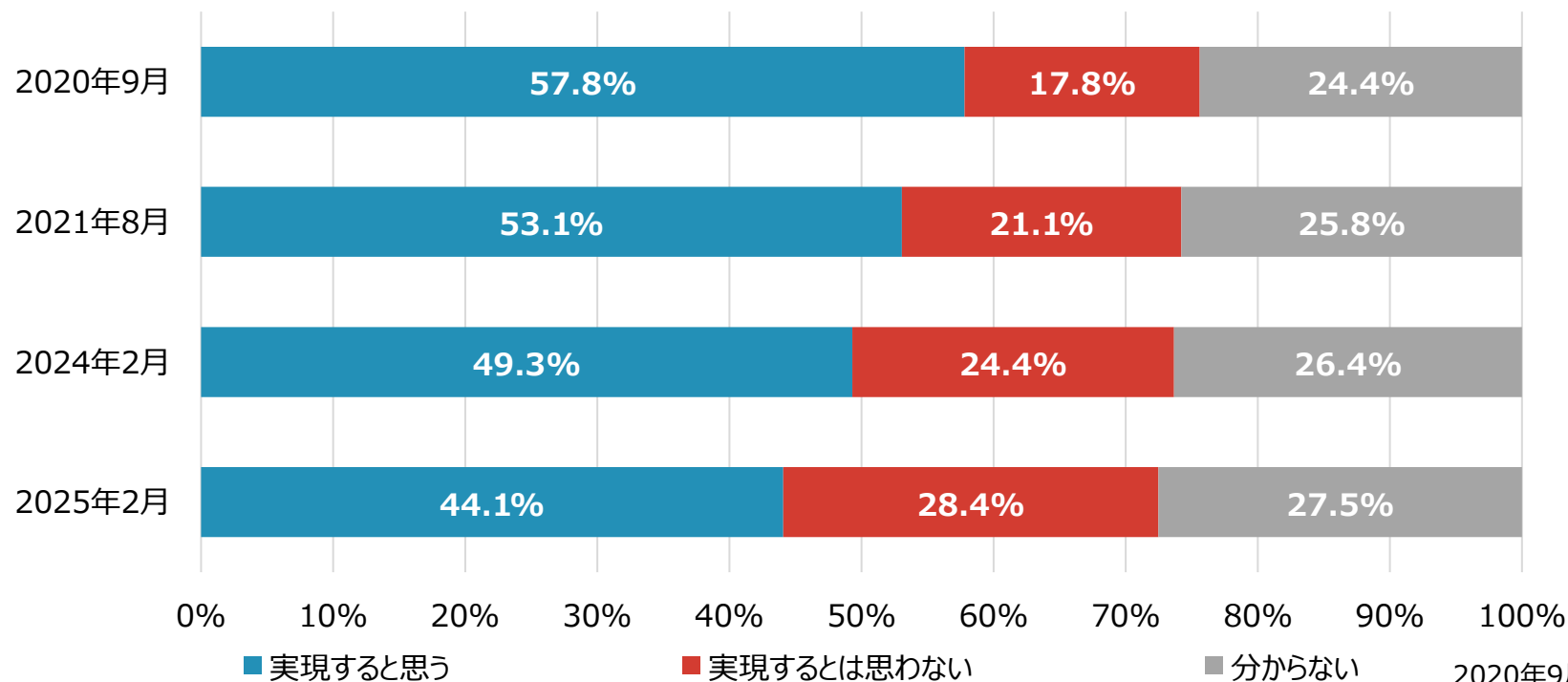
- ✓ 職業別では、「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがあると答えた割合が最も高かったのは会社役員・経営者の84.1%であり、最も低かったのはパート・アルバイトの62.6%であった。



4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

3 あなた自身は、「空飛ぶクルマ」は実現すると思いますか。(年別比較)

- ✓ 2020年9月では57.8%の人が「空飛ぶクルマは実現する」と回答していたが、2021年8月には53.1%、2024年2月には49.3%、2025年2月には44.1%と、徐々に減少している。



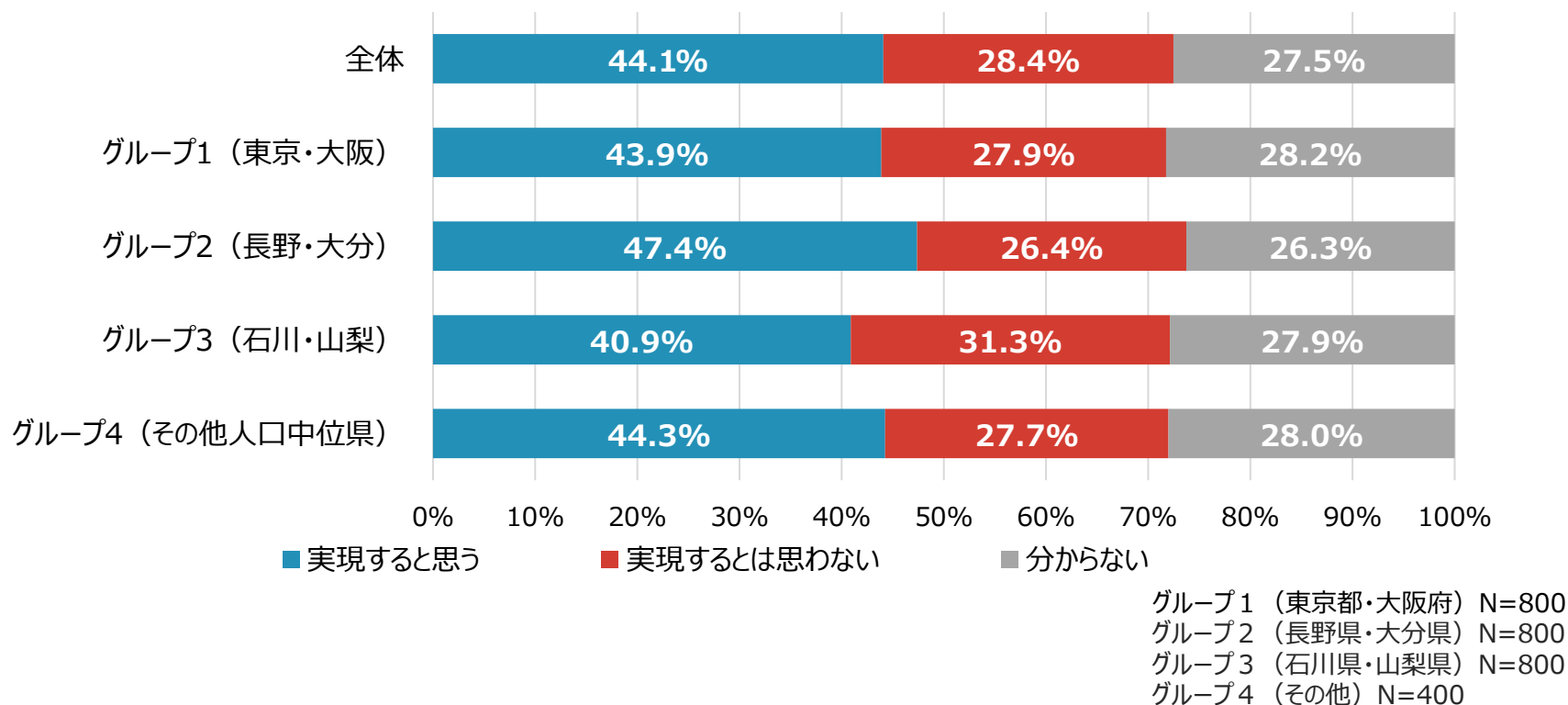
2020年9月：N=1000
2021年8月：N=2000
2024年2月：N=2000
2025年2月：N=2800

注釈：端数処理の関係で、内訳の和が100.0%にならないことがある。

4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

3 あなた自身は、「空飛ぶクルマ」は実現すると思いますか。(地域別) (2025年2月調査)

- ✓ 地域別で「空飛ぶクルマ」が実現すると思うと答えたのは、東京都・大阪府在住者43.9%、長野県・大分県在住者47.4%、石川県・山梨県在住者40.9%、その他地域在住者44.3%であった。

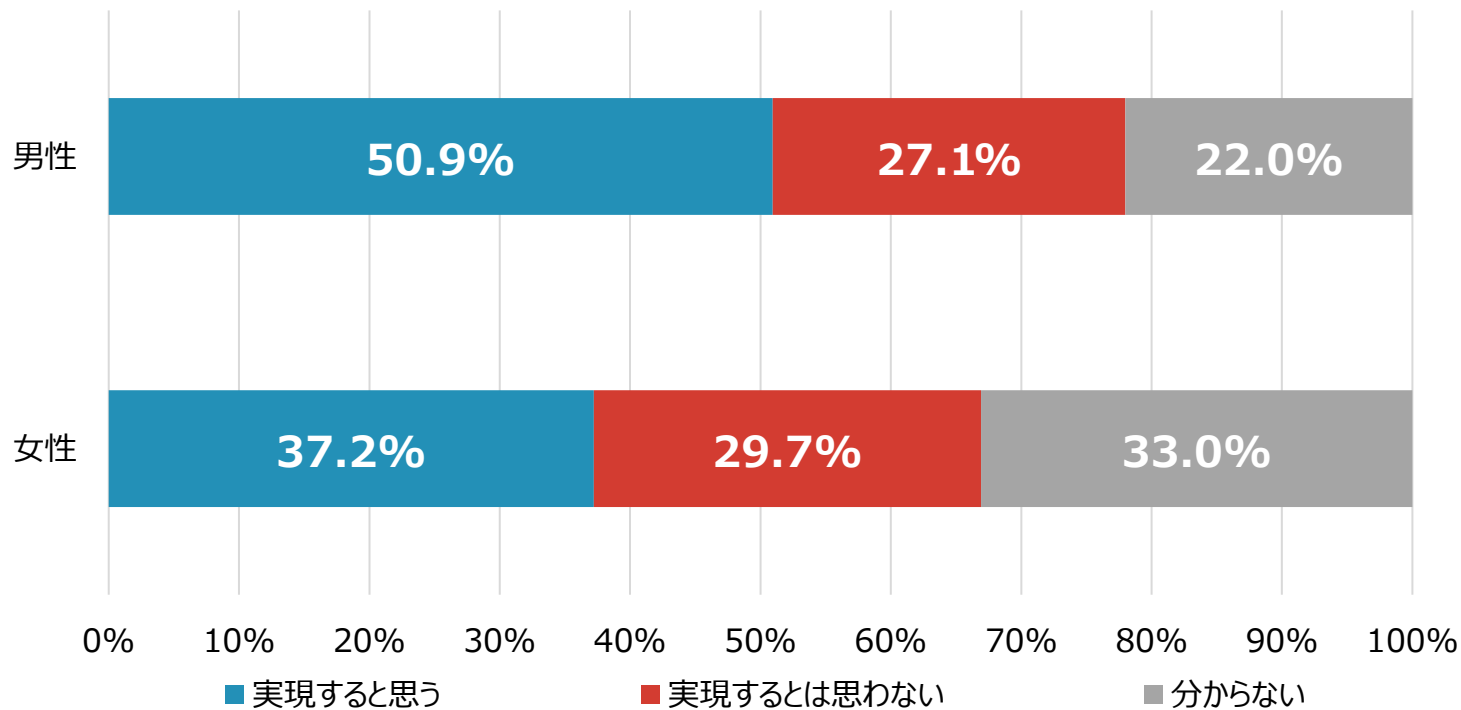


注釈：端数処理の関係で、内訳の和が100.0%にならないことがある。

4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

3 あなた自身は、「空飛ぶクルマ」は実現すると思いますか。(性別) (2025年2月調査)

- ✓ 性別では、男性の50.9%が「空飛ぶクルマ」は実現すると思うと答えたのに対し、女性は37.2%にとどまった。



男性：N=1400

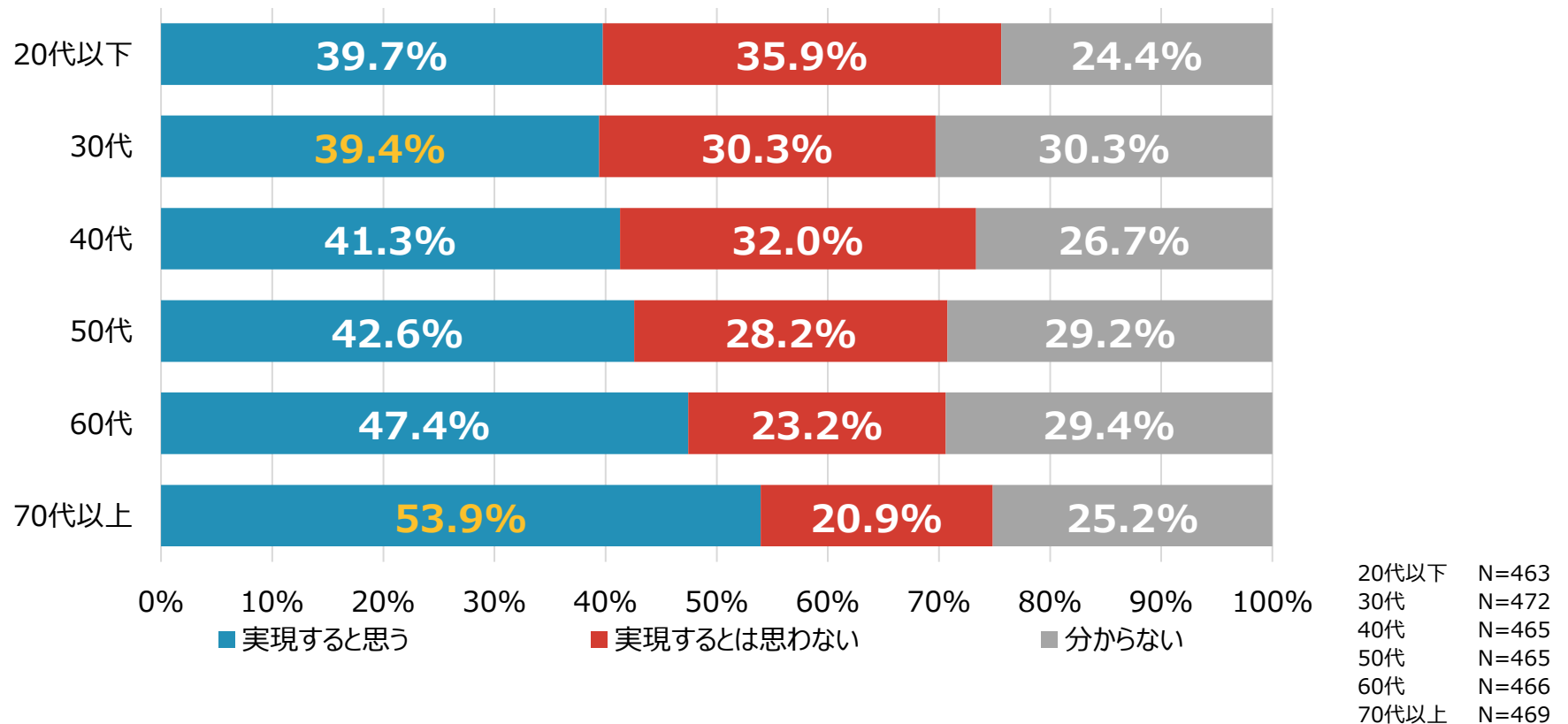
女性：N=1400

注釈：端数処理の関係で、内訳の和が100.0%にならないことがある。

4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

3 あなた自身は、「空飛ぶクルマ」は実現すると思いますか。(年齢層別) (2025年2月調査)

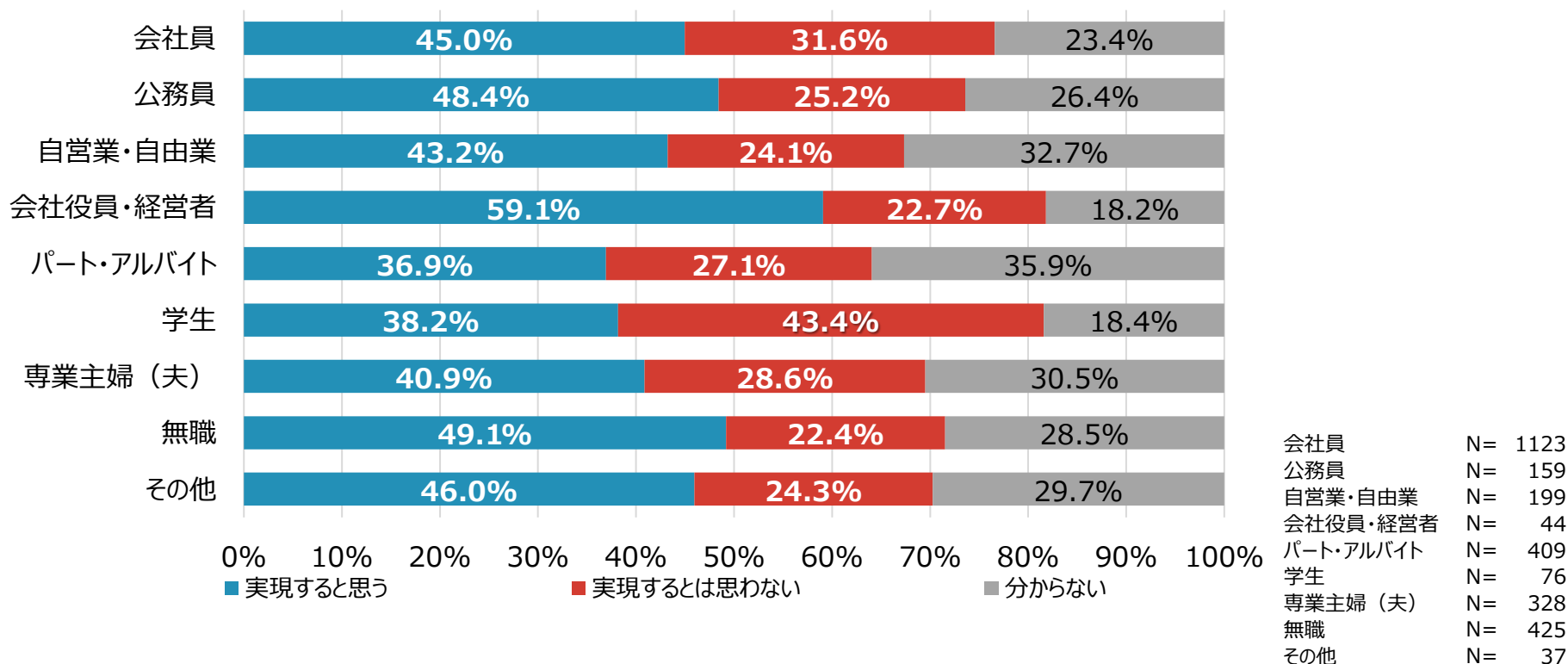
- ✓ 年齢層別では、「空飛ぶクルマ」が実現すると思うと答えた割合が最も高かったのは、70代以上の53.9%で、最も割合が低かったのは、30～39歳の39.4%であった。



4. 調査結果 (2) 「空飛ぶクルマ」に関する認知度と実現への期待について

3 あなた自身は、「空飛ぶクルマ」は実現すると思いますか。(職業別) (2025年2月調査)

- ✓ 職業別では、「空飛ぶクルマ」が実現すると思うと答えた割合が最も高かったのは、会社役員・経営者の59.1%であり、最も割合が低かったのは、アルバイトの36.9%であった。
- ✓ 「実現するとは思わない」と答えた割合が最も高かったのは、学生の43.4%であった。



注釈：端数処理の関係で、内訳の和が100.0%にならないことがある。

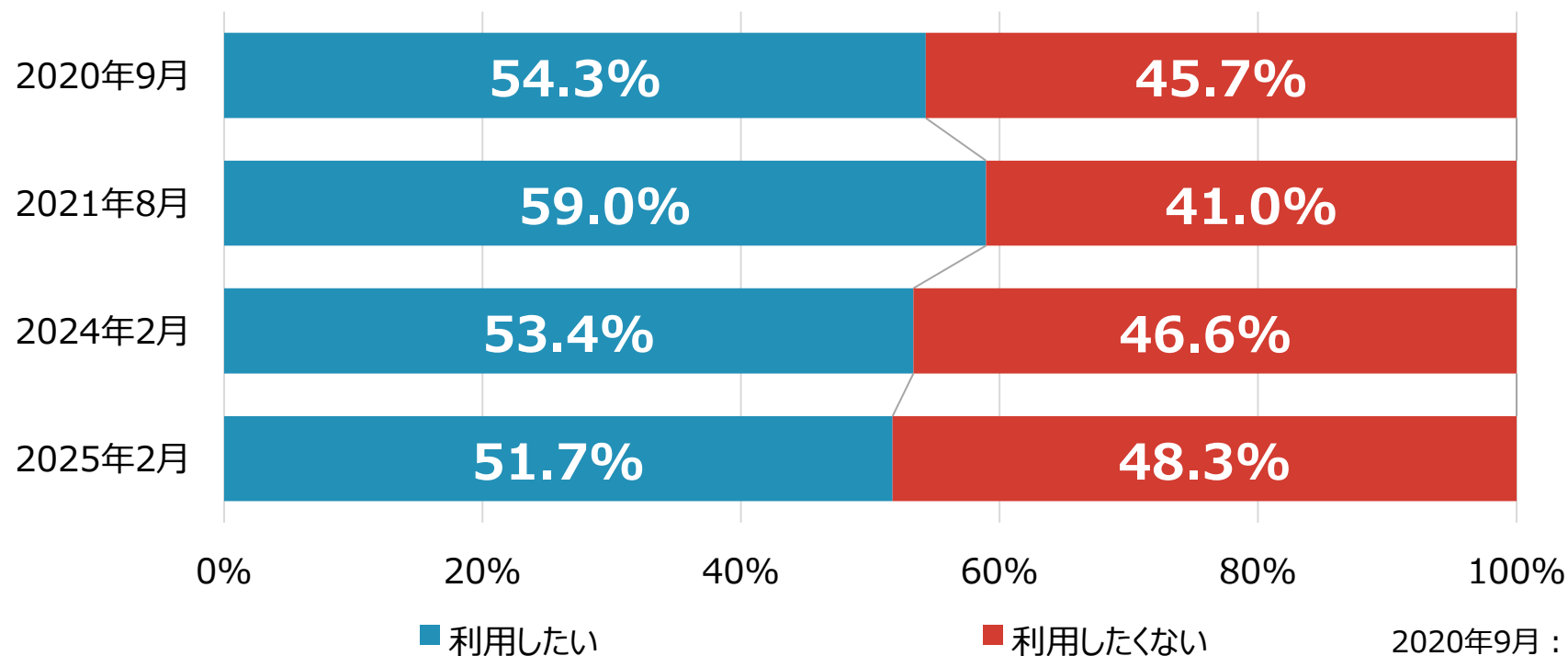
4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

4

「空飛ぶクルマ」が実現したら利用したいと思いますか。

※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。

- ✓ 2025年2月調査にて「空飛ぶクルマ」を利用したいと答えた回答者は51.7%であり、前回調査から1.7ポイント低下した。



2020年9月：N=1000
2021年8月：N=2000
2024年2月：N=2000
2025年2月：N=2800

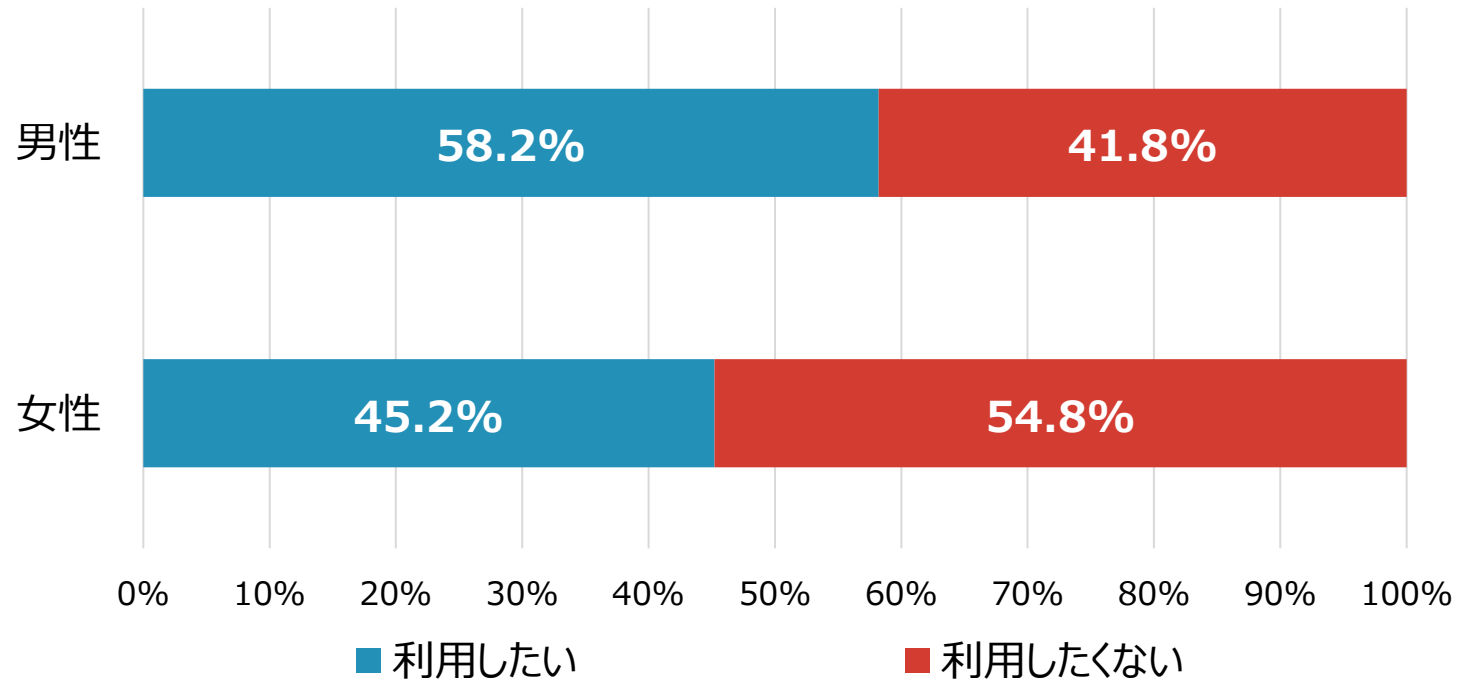
4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

4

「空飛ぶクルマ」が実現したら利用したいと思いますか。(性別)

※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。(2025年2月調査)

- ✓ 性別では、男性の58.2%が「空飛ぶクルマ」を利用したいと答えたのに対し、女性は45.2%にとどまった。



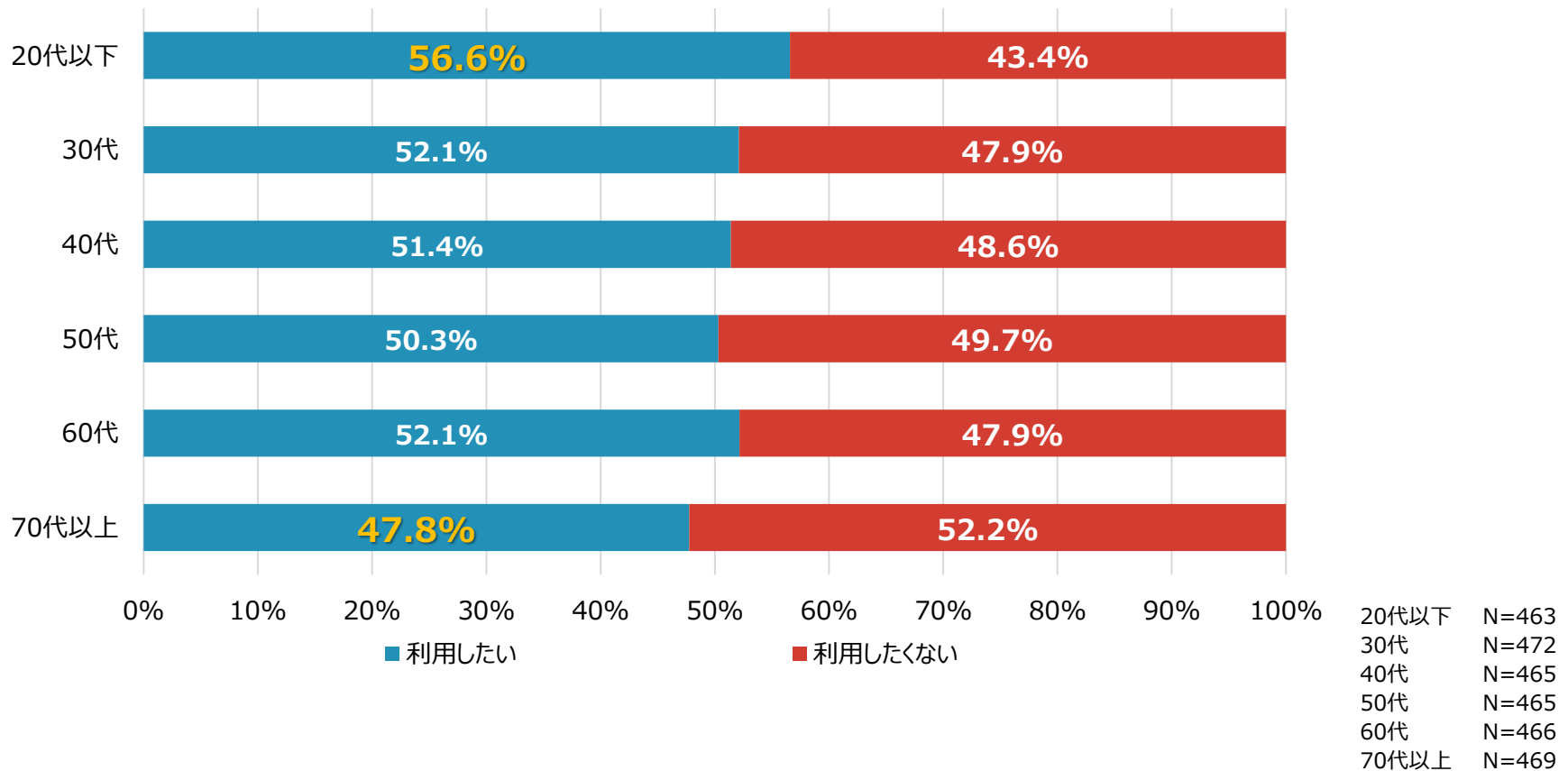
男性 : N=1400
女性 : N=1400

4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

4 「空飛ぶクルマ」が実現したら利用したいと思いますか。(年齢層別)

※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。(2025年2月調査)

- ✓ 年齢層別では、「空飛ぶクルマ」を利用したいと答えた割合が最も高かったのは20代以下（56.6%）であり、最も割合が低かったのは、70代以上（47.8%）であった。

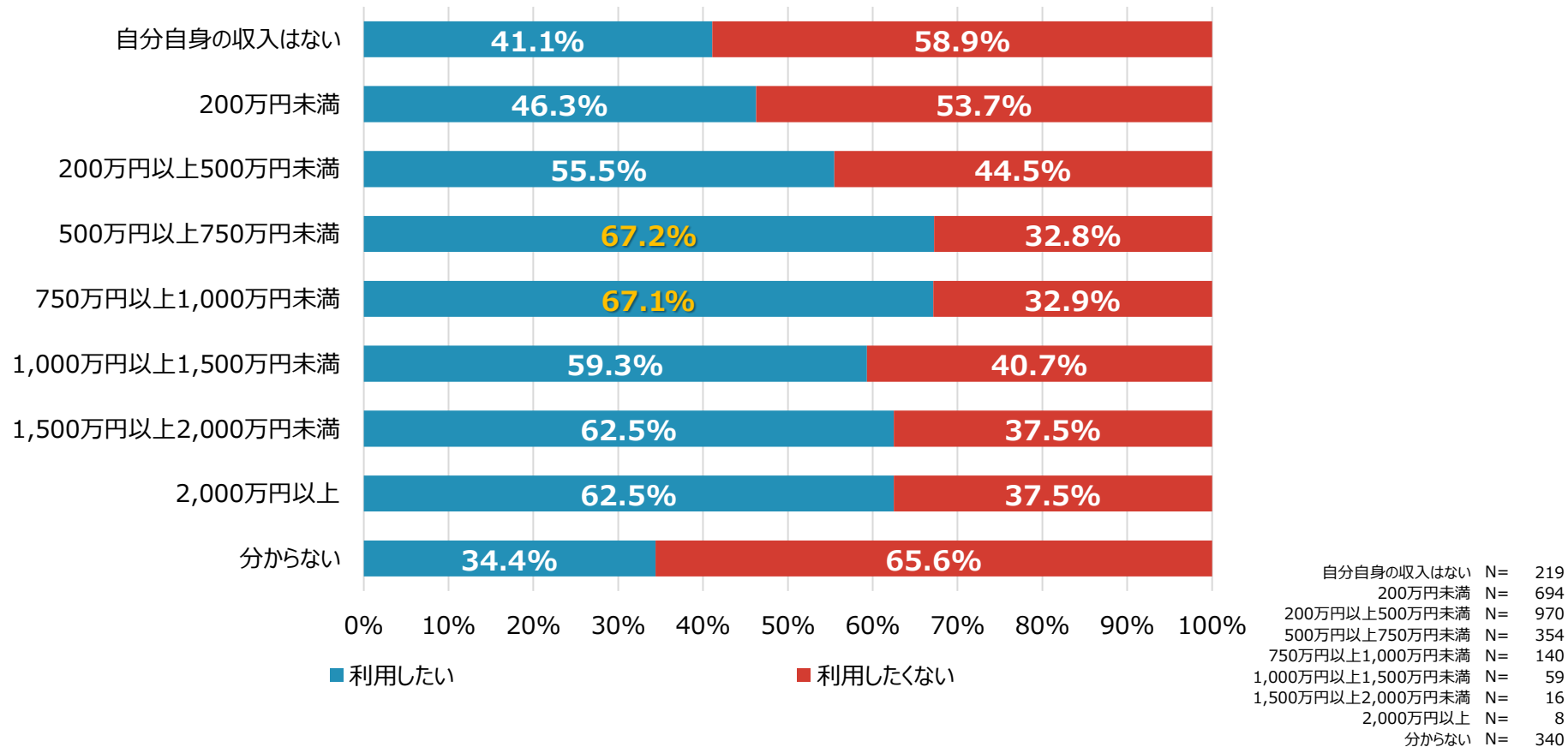


4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

4 「空飛ぶクルマ」が実現したら利用したいと思いますか。(年収別)

※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。(2025年2月調査)

- ✓ 年収別では、「空飛ぶクルマ」を利用したいと答えた割合が高かったのは、年収500万円以上750万未満の67.2%と750万円以上1,000万円未満の67.1%であった。

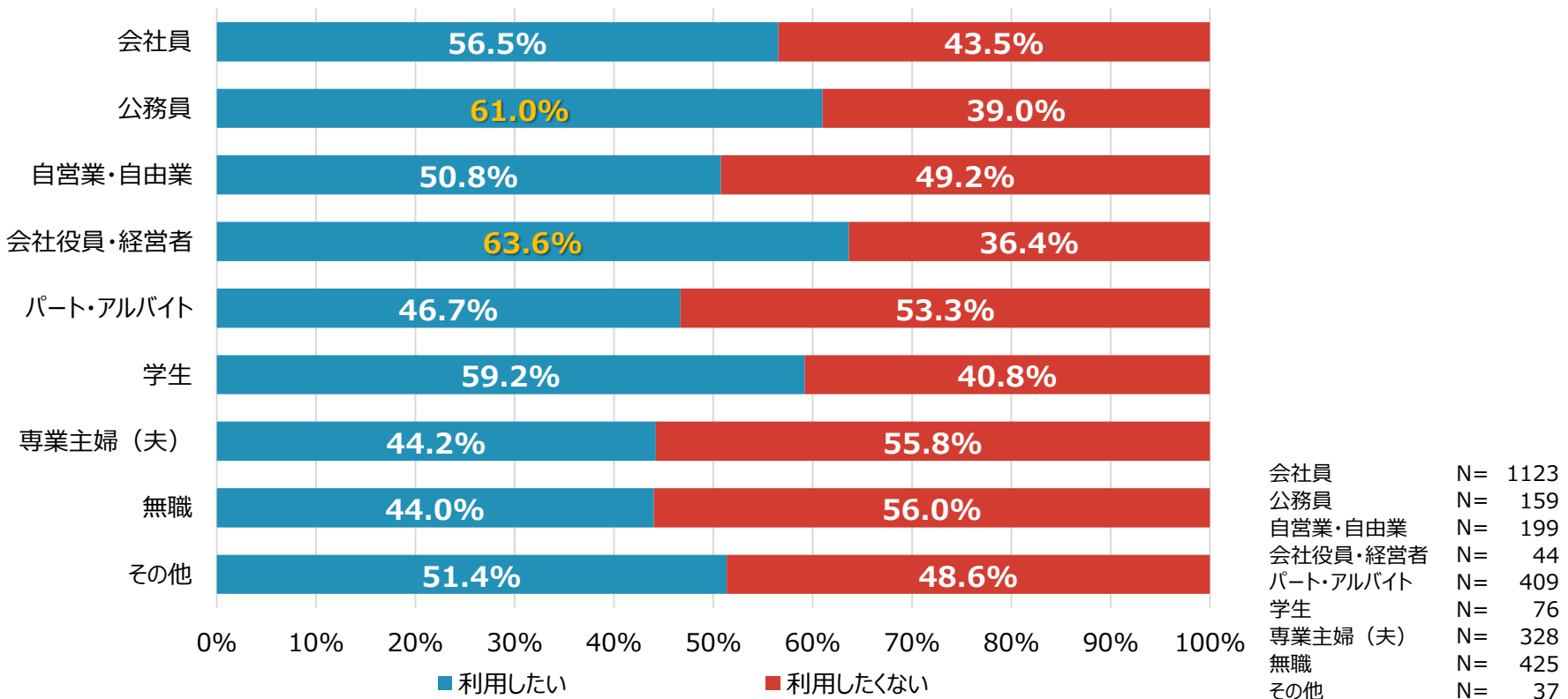


4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

4 「空飛ぶクルマ」が実現したら利用したいと思いますか。(職業別)

※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。(2025年2月調査)

- ✓ 職業別では、「空飛ぶクルマ」を利用したいと答えた割合が最も高かったのは、会社役員・経営者の63.6%で、次いで公務員の61.0%であった。また、最も低かったのは無職の44.0%であった。

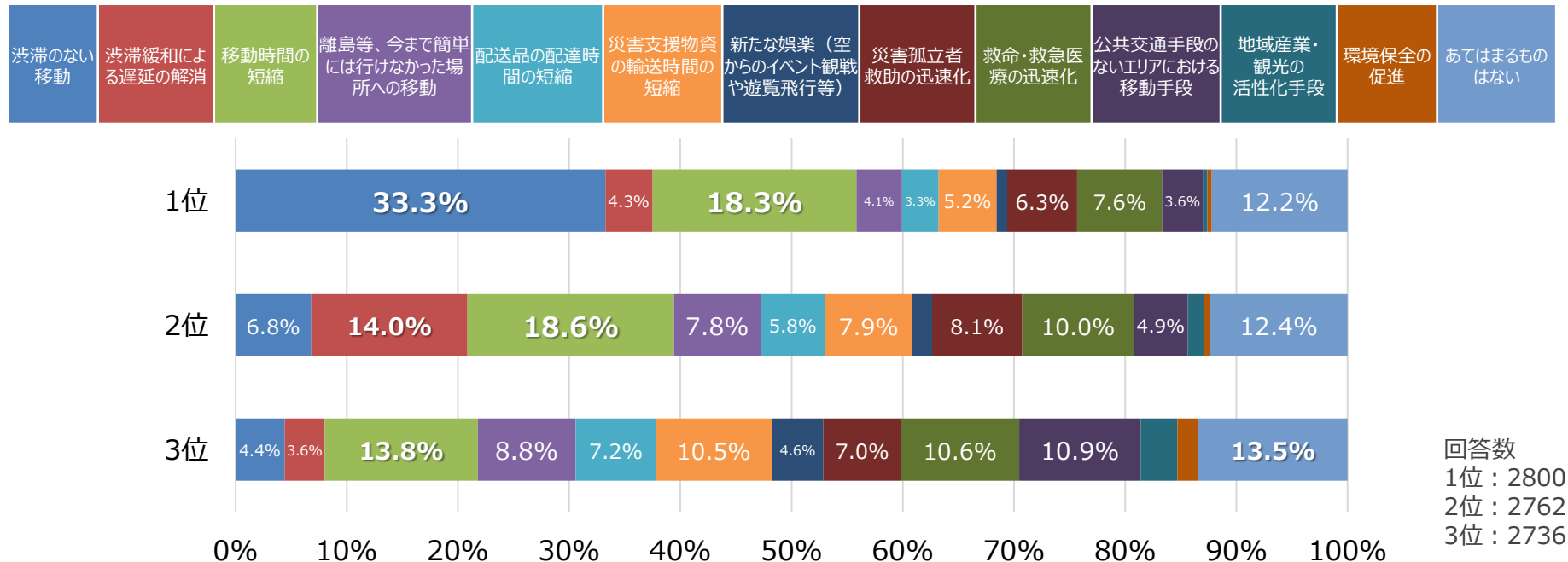


4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

Q

あなたが現在お住いの地域において「空飛ぶクルマ」に対してどのようなことを期待しますか。期待する順に3つお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (全体)

- ✓ 1位の回答が最も多いのは「渋滞のない移動」の33.3%であった。
- ✓ 次に多いのは「移動時間の短縮」で18.3%であった。また「移動時間の短縮」は、2位・3位での回答数も多く、総回答数は最も多い項目となった。

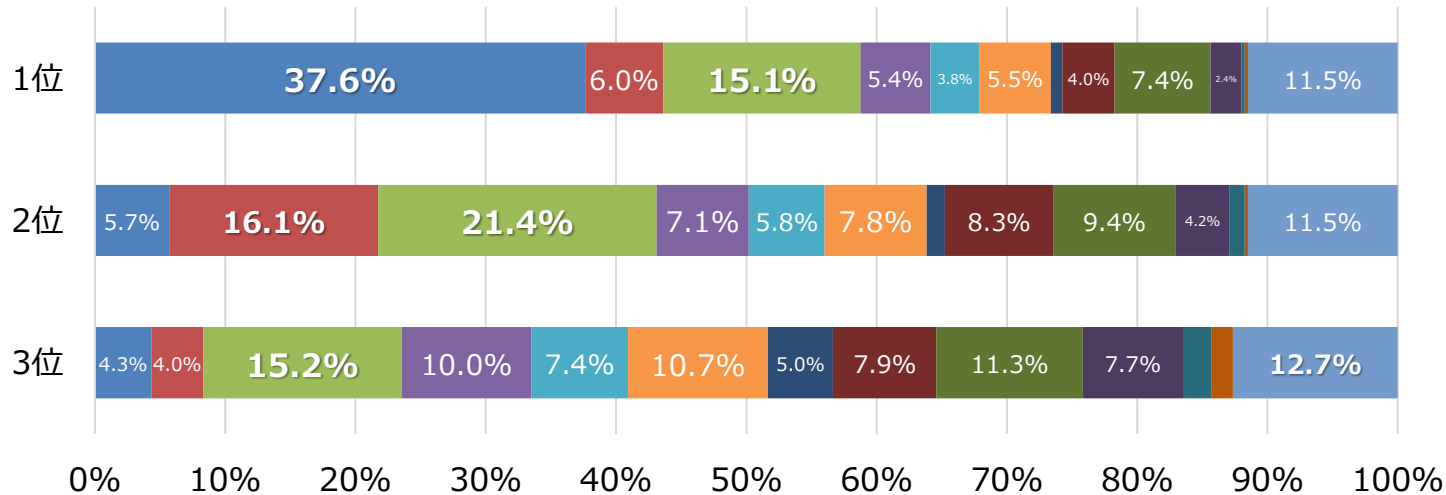
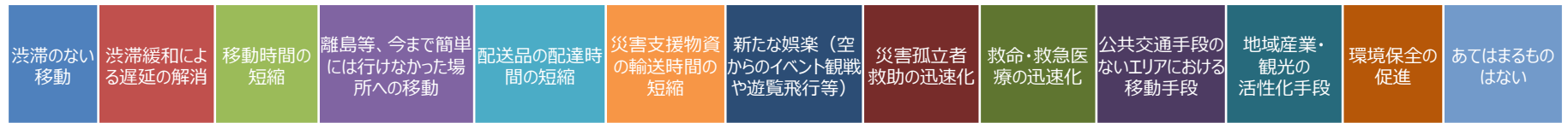


4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

5

あなたが現在お住いの地域において「空飛ぶクルマ」に対してどのようなことを期待しますか。期待する順に3つお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (グループ① (東京都・大阪府))

- ✓ 東京都・大阪府において、1位の回答割合が最も多いのは「渋滞のない移動」の37.6%であり、前頁の全体の結果より4.3ポイント高くなった。
- ✓ 次に多いのは「移動時間の短縮」で15.1%であった。



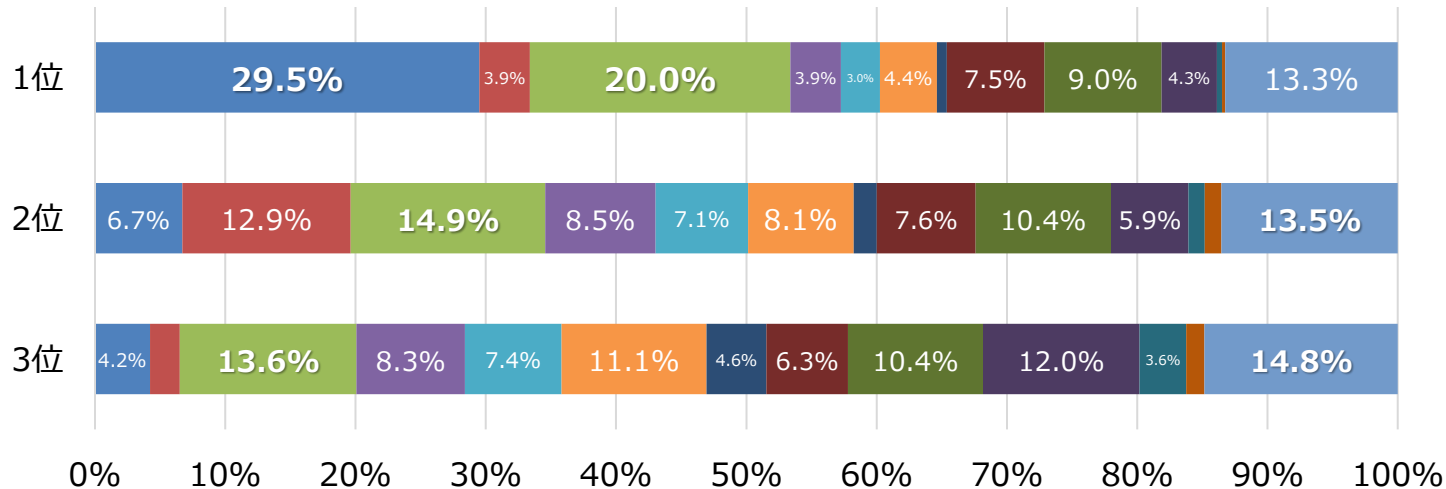
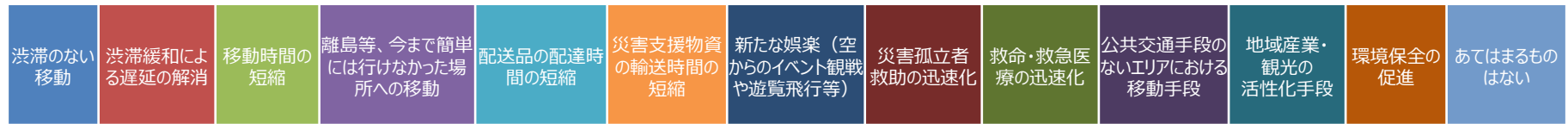
回答数
1位：800
2位：791
3位：782

4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

5

あなたが現在お住いの地域において「空飛ぶクルマ」に対してどのようなことを期待しますか。期待する順に3つお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (グループ② (長野県・大分県))

- ✓ 長野県・大分県において、1位の回答割合が最も多いのは「渋滞のない移動」の29.5%であった。全体に比べて3.8ポイント、東京都・大阪府に比べて8.1ポイント低くなった。
- ✓ 次に多いのは「移動時間の短縮」で20.0%であった。



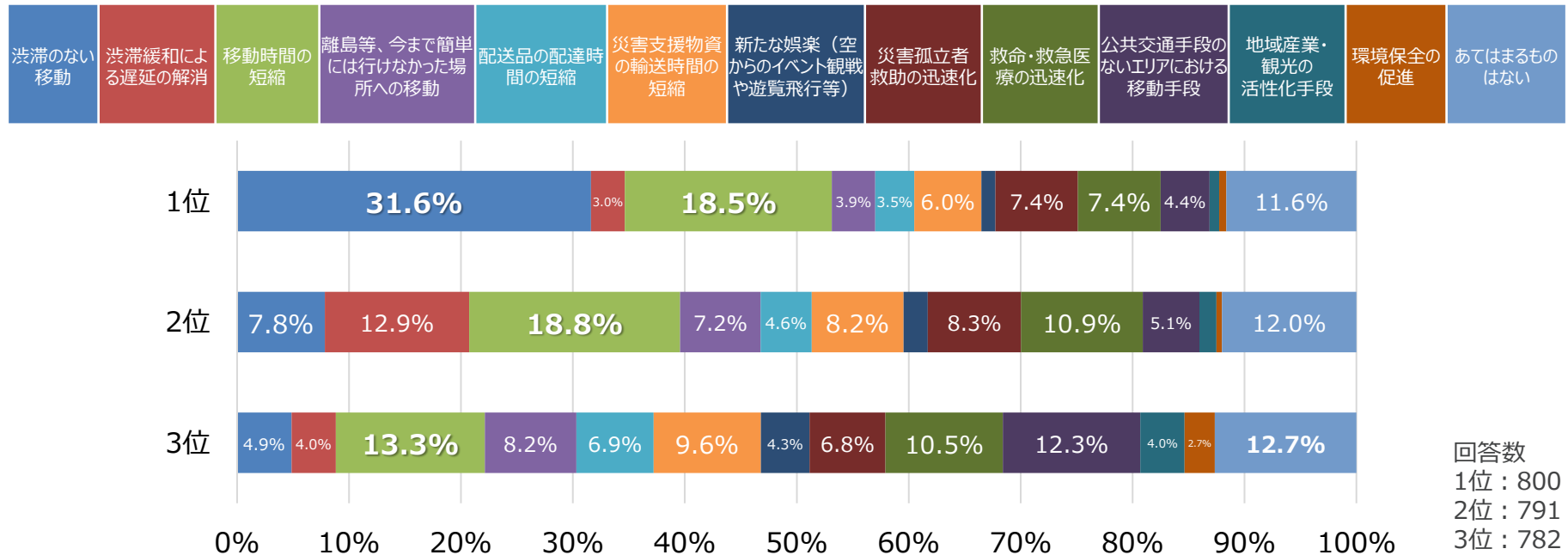
回答数
1位：800
2位：790
3位：782

4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

5

あなたが現在お住いの地域において「空飛ぶクルマ」に対してどのようなことを期待しますか。期待する順に3つお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
(2025年2月調査) (グループ③ (山梨県・石川県))

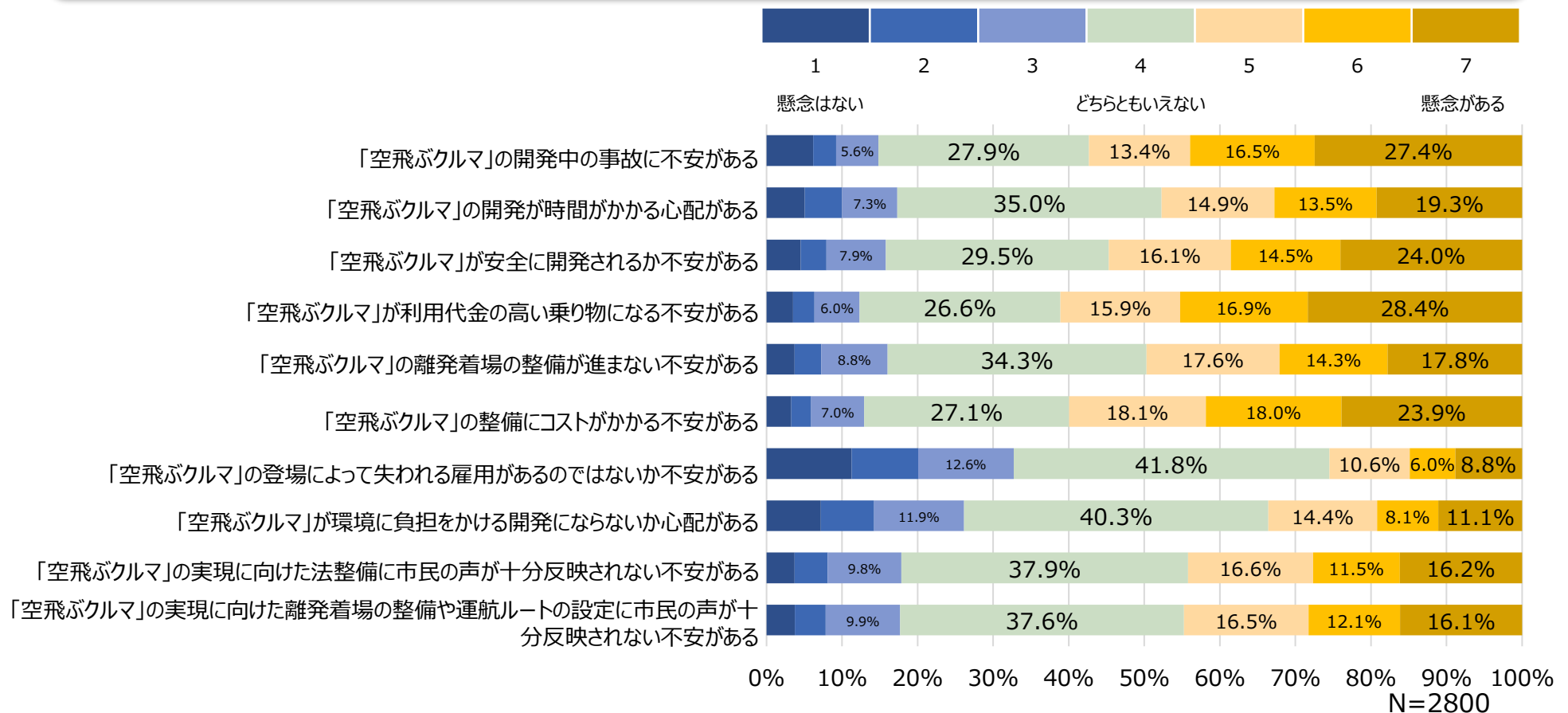
- ✓ 山梨県・石川県において、1位の回答割合が最も多いのは「渋滞のない移動」の31.6%で、全体に比べて1.8ポイント、東京都・大阪府に比べて6.0ポイント低くなった。
- ✓ 次に多いのは「移動時間の短縮」の18.5%であった。



4. 調査結果 (3) 利用者としての期待・不安について

6 「空飛ぶクルマ」の実現に向けた懸念事項はどの程度ありますか。(2025年2月調査)

- ✓ 「どちらともいえない」より懸念がある回答が半数以上（5点以上）となった項目は「開発中の事故」、「安全に開発されるか」、「利用代金の高い乗り物になる」「整備にコストがかかる」であり、安全性と費用において懸念があった。

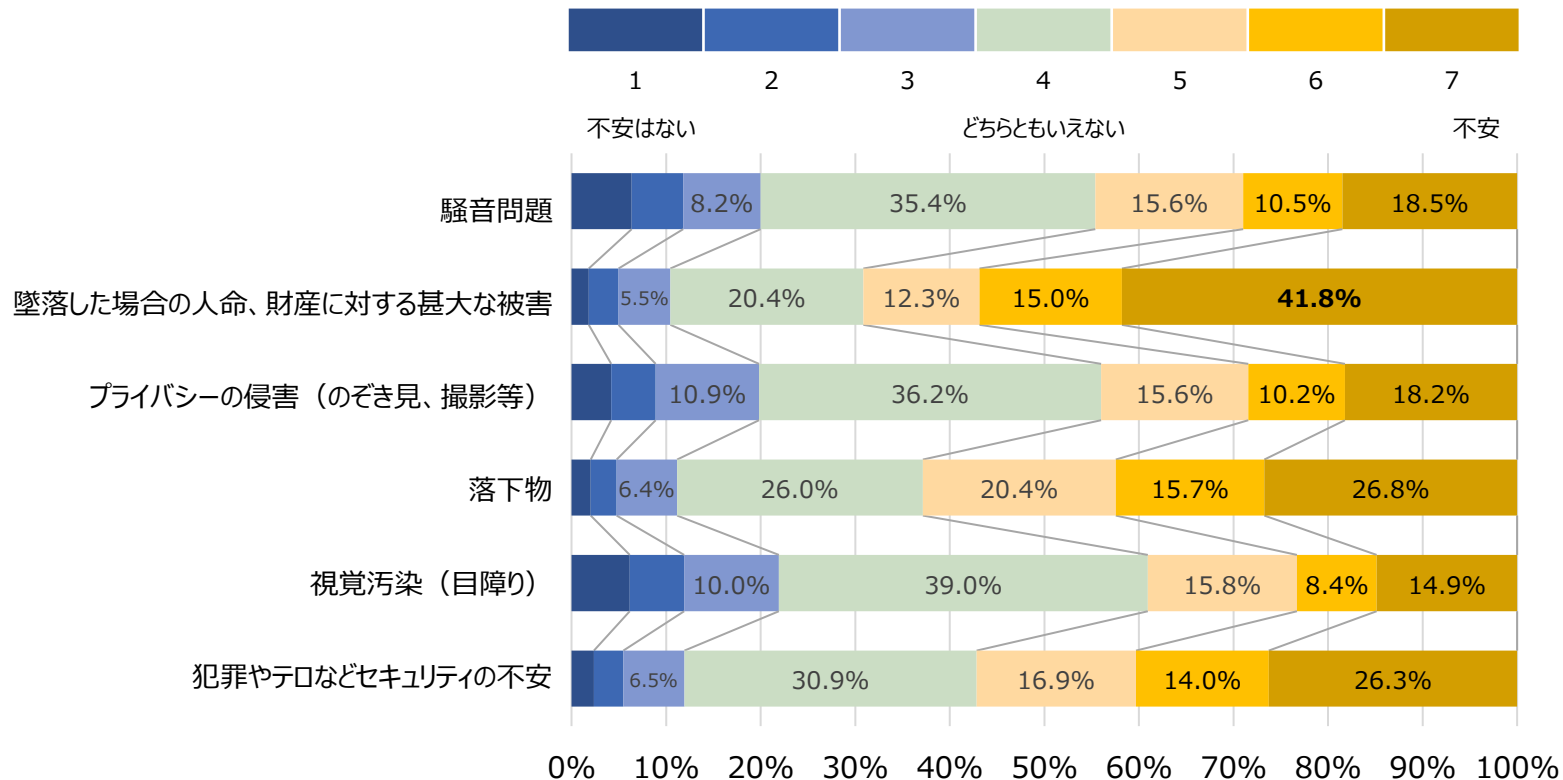


4. 調査結果 (4) 社会としてのベネフィット・不安について

Q

自宅の上を「空飛ぶクルマ」が飛ぶ場合、以下の事柄についてそれぞれ7段階でどの程度不安に感じますか。ただし、空飛ぶクルマやオペレーターは従来のヘリコプター事業のように国に認証を受けている前提です。（2025年2月調査）

- ✓ 自宅の上を飛ぶ場合に感じる不安では、「墜落した場合の人命、財産に対する甚大な被害」が最も多く、「落下物」が次に多い結果となった。



N=2800

5. 考察

» 目的 1

- ✓ 日常利用するモビリティに対する不満や期待を明らかにしつつ、「空飛ぶクルマ」に対する地域特性別の期待や不安・課題などを浮き彫りにする。

- ✓ 日常利用するモビリティに対する不満は地域差があり、「特にない」を除くと、東京都・大阪府では「利用料金が高い」が最も多かった。一方で、長野県・大分県や石川県・山梨県は「利用できる回数・時間帯が少ない、そもそも公共交通機関がない」が最も多く、次に「利用料金が高い」となっていた。

⇒「空飛ぶクルマ」が公共交通機関として利用される場合、いずれの地域においても「空飛ぶクルマ」の利用料金が高すぎると利用が限定される可能性がある。

⇒また、長野県・大分県や石川県・山梨県では公共交通機関が無いといった利便性に関する回答割合が最も高くなっている。空飛ぶクルマが地方の移動手段の補完として期待されていることが確認された。

- ✓ 「空飛ぶクルマ」に対して期待することは、全地域で「渋滞のない移動」と「移動時間の短縮」が多かった。
- ✓ 地域別の「空飛ぶクルマ」に対して期待することは、いずれの地域でも、「渋滞のない移動」と「渋滞のない移動」が多かった。

⇒「空飛ぶクルマ」に対する期待として、全地域で「渋滞のない移動」と「移動時間の短縮」が選択されており、これらが多くの人々にとって共通の課題であることを示している。

5. 考察

»目的2

- ✓ 「空飛ぶクルマ」に対する回答者の属性別の期待や不安・課題などを浮き彫りにする。
- ✓ 「空飛ぶクルマ」に対する期待感や利用意向は職業によって異なっていた。例えば、「空飛ぶクルマ」が実現したら利用したいと答えた割合が最も多かった職業は会社役員・経営者の63.6%であった。一方で、最も少なかったのは無職の44.0%であった。
⇒職業による技術に対する理解度の違いが影響している可能性がある。期待感や利用意向の違いは、「空飛ぶクルマ」の社会実装時に考慮すべきである。
- ✓ 利用者以外の（「空飛ぶクルマ」の飛行ルートや 離着陸場周辺住民としての）立場において、「空飛ぶクルマ」に対する不安という面では、自宅上空か職場や学校上空を飛行することについてはいずれも「墜落した場合の人命、財産に対する甚大な被害」と「落下物」、「犯罪やテロなどセキュリティ」に対する不安が高い傾向にあった。
⇒不安を解消するためには、技術的な対策や運航ルールの整備および住民への説明が必要である。

»目的3

- ✓ 過去データと比較し経年変化を把握する。
- ✓ 空飛ぶクルマの認知度については、2024年2月と2025年2月の認知度はほぼ同じであり、認知度の伸びが停滞している。
⇒空飛ぶクルマに関する情報が一般の人々に広く行き渡り、一定の認知度に達したことを示している可能性がある。
- ✓ 「空飛ぶクルマ」が実現すると思う割合は、徐々に減少している。
- ✓ 「空飛ぶクルマ」を利用したいと思う割合は、実現すると思う割合は、2021年8月をピークに徐々に減少している。
⇒「空飛ぶクルマ」の実現性・利用需要の低下は、技術開発や制度整備、安全性への懸念が影響していると考えられる。

6. まとめ

- ✓ 今回の調査により、利用者を含む社会が、現在の移動手段に対して抱えている不満や課題、「空飛ぶクルマ」に対する期待、不安について地域や属性等の特性を踏まえた一定の結果を示すことができた。
- ✓ また、前回調査からの「空飛ぶクルマ」に対する、利用者の認知度・意識の変化を明らかにすることができた。
- ✓ 「空飛ぶクルマ」の社会実装に向け、市場性、社会受容性双方を高めるための課題とその克服のための条件を理解し、特に利用者の立場においては、地域、属性等の特性を踏まえた対策を講じる必要がある。
- ✓ 今後、弊社で過去に実施した調査との比較によって、日本と海外の利用者／社会の意識の差や認知度の差等を分析するとともに、継続的な調査を行うことで、MS&ADインシュアランスグループとして、安心・安全な「空飛ぶクルマ」の社会実装による社会課題の解決に貢献したい。

【参考】設問内容

No.	設問（選択肢は省略）
Q1	あなたご自身の職業について、あてはまるものをお選びください。
Q2	昨年度のあなたご自身の年収（税込み、仕事による収入と仕事外の収入の合計）は、おおよそどのくらいですか。最も近いと思われるものをお選びください。
Q3	あなたご自身の飛行機の搭乗頻度について教えてください。※往復の場合は2回分とカウントしてください。なお、コロナ禍後の意識をお聞かせください。
Q4	航空会社を選ぶ際、あなたご自身はどのような点を重視しますか。重視する順に3つをお選びください。なお、コロナ禍後の意識をお聞かせください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q5	あなたは、過去に何回ヘリコプターに乗ったことがありますか。
Q6	あなたは、ヘリコプターに乗ってみたいと思いますか。
Q7	Q7.あなたご自身が日常生活において移動する場合に利用される交通手段について教えてください。利用する頻度の高い順に3つをお選びください。（順位をお選びください）
Q8	あなたご自身が住まわれている地域で日常生活において移動する場合に利用される交通手段について不満に思っていることを3つ選んでください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q9	国内出張をされる方にお聞きます。あなたご自身が国内出張をされる場合に利用される交通手段について教えてください。利用する頻度の高い順に3つをお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q10	国内出張をされる方にお聞きます。あなたご自身が国内出張をされる場合に利用される交通手段について不満に思っていることを3つ選んでください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q11	あなたご自身が国内旅行をされる場合に利用される交通手段について教えてください。利用する頻度の高い順に3つをお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q12	あなたご自身が国内旅行をされる場合に利用される交通手段について不満に思っていることを3つ選んでください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q13	あなたは「空飛ぶクルマ」という言葉を聞いたことがありますか。
Q14	あなたの空飛ぶクルマに関する知識や理解度として最も近いものはどれですか。
Q16	あなた自身はこの質問の前の説明のような「空飛ぶクルマ」は実現すると思いますか。
Q17	「空飛ぶクルマ」はいつ頃に実現すると思いますか。
Q18	あなたが現在お住いの地域において「空飛ぶクルマ」に対してどのようなことを期待しますか。期待する順に3つをお選びください。※「2位」は、「1位」で回答されていないものの中からお選びください。※「3位」は、「1位」と「2位」で回答されていないものの中からお選びください。
Q19	「空飛ぶクルマ」の実現に向けた懸念事項はどの程度ありますか。
Q20	「空飛ぶクルマ」の離着陸場として希望する場所はどこですか。あてはまるものを3つまでお選びください。（順位をお選びください）
Q21	あなたご自身が「空飛ぶクルマ」に乗る場合、以下の事柄についてそれぞれ7段階でどの程度不安に感じますか。ただし、空飛ぶクルマやオペレーターは従来のヘリコプター事業のように国に認証を受けている前提です。
Q22	前問の不安について、あなたが不安に思うもの上位3つをお選びください。（3つまで）
Q23	どのような装備・機能があれば「空飛ぶクルマ」に乗ることについて安心感が増えますか。安心する順に3つまでお選びください。（順位をお選びください）
Q24	空飛ぶクルマが実現したら利用したいと思いますか。※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。
Q26	どのような場面で空飛ぶクルマを利用したいと思いますか。利用したい順に3つまでお選びください。（順位をお選びください）※ここでは利用料金はないものとしてお考えください。
Q27	日常的に利用している交通手段を空飛ぶクルマに代替したいと思うのはどのような場合ですか。（いくつでも）
Q28	現在60分2,000円かかる移動を、「空飛ぶクルマ」なら10分で到着できるとした場合、あなた自身はどれぐらいの料金であれば利用したいと思いますか。
Q29	どのような料金体系であれば利用しやすいと思いますか。最も近いと思われるものをお選びください。

【参考】設問内容

No.	設問（選択肢は省略）
Q30	自宅の上を「空飛ぶクルマ」が飛ぶ場合、以下の事柄についてそれぞれ7段階でどの程度不安に感じますか。ただし、空飛ぶクルマやオペレーターは従来のヘリコプター事業のように国に認証を受けている前提です。
Q31	前問の不安について、あなたが不安に思うもの上位3つをお選びください。（3つまで）
Q32	職場や学校の上を「空飛ぶクルマ」が飛ぶ場合、以下の事柄についてそれぞれ7段階でどの程度不安に感じますか。ただし、空飛ぶクルマやオペレーターは従来のヘリコプター事業のように国に認証を受けている前提です。
Q33	前問の不安について、あなたが不安に思うもの上位3つをお選びください。（3つまで）
Q34	あなたの居住地域上空を空飛ぶクルマが飛行するとして、どの程度の頻度であれば許容できますか。ここでは、空飛ぶクルマが飛んでいるのが見えており、飛行機や地下鉄に乗っている時と同程度の騒音があるものと仮定します。
Q35	あなたの職場や学校の上空を空飛ぶクルマが飛行するとして、どの程度の頻度であれば許容できますか。ここでは、空飛ぶクルマが飛んでいるのが見えており、飛行機や地下鉄に乗っている時と同程度の騒音があるものと仮定します。
Q36	あなたの居住地域上空を空飛ぶクルマが飛行するとして、1日のうちどの時間帯であれば許容できますか。ここでは、空飛ぶクルマが飛んでいるのが見えており、飛行機や地下鉄に乗っている時と同程度の騒音があるものと仮定します。（いくつでも）
Q37	あなたの職場や学校の上空を空飛ぶクルマが飛行するとして、1日のうちどの時間帯であれば許容できますか。ここでは、空飛ぶクルマが飛んでいるのが見えており、飛行機や地下鉄に乗っている時と同程度の騒音があるものと仮定します。（いくつでも）
Q38	あなたの居住地域上空を空飛ぶクルマが飛行するとして、どの程度の大きさに見える場合であれば許容できますか。
Q39	あなたの職場上空を空飛ぶクルマが飛行するとして、どの程度の大きさに見える場合であれば許容できますか。
Q40	「空飛ぶクルマ」のサービスが生活圏に実装されることに対し、以下の事柄についてそれぞれ7段階でどう予想しますか。
Q41	前問の不安について、あなたが不安に思うもの上位3つをお選びください。（3つまで）
Q42	将来、空飛ぶクルマの産業に携わってみたいと思いますか（アルバイト等を含む）。
Q43	Q43.どんなメリットや条件があれば地域周辺での空飛ぶクルマを活用したビジネスを応援できますか。上位3つをお選びください。（順位をお選びください）
Q44	地域周辺での空飛ぶクルマを活用したビジネスを応援できないような条件やデメリットはなんですか。上位3つをお選びください。（3つまで）
Q45	どのような活動が空飛ぶクルマの理解や社会実装に繋がるために重要となると思いますか。上位3つをお選びください。（3つまで）
Q46	自治体に期待することについてお答えください。（いくつでも）
Q47	実証実験を行うに際して、必要と思われることをお選びください。（いくつでも）
Q48	あなた自身が「空飛ぶクルマ」の実証実験に参加（試乗）できるとしたら、乗ってみたいと思いますか。7段階であなたのお考えに最も近いものをお選びください。
Q49	あなたが住んでいる場所の近くで実証実験が行われるとしたらどう思われますか。
Q50	様々な分野での自動化技術が進んでいますが、先にご説明した自動運転機能の付いた自動運転車や、新交通システムと言われる小型・軽量でゴムタイヤの付いた電車車両をコンピューターによって運行管理する運転士のいない自動案内軌条式旅客輸送システムを用いた車両などを利用されたことはありますか。それはなんですか。
Q51	「空飛ぶクルマ（無人操縦）」と「完全自動化（レベル5）の自動車」のどちらかを選ぶなら、あなたはどちらに乗ってみたいと思いますか。※移動時間も利用料金も同じものとしてお考えください。
Q52	前問で乗ってみたいと思った理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。（順位をお選びください）
Q53	以下の乗り物について、今後自動化が進み、操縦者が搭乗せず遠隔監視で運行される場合に乗ってみたいですか。あてはまるものを3つまでお選びください。（3つまで）※移動時間も利用料金も同じものとしてお考えください。
Q54	保険会社に期待することについてお答えください。（いくつでも）

7. 照会先

- 調査結果の内容の引用、部分転載は原則としてフリーとしますが、出典を付記することを条件とします。
出典は
「MS&ADインターリスク総研 『「空飛ぶクルマ」の社会受容性等に関するアンケート調査結果について（2025.6.3）』」です。
- 本資料に記載しているものは、発表日時点のものです。
- 本報告書で使用した調査データについては、有償にてご提供しております。ご関心のある方は、下記の照会先へお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトRM NAVIより詳細をご覧ください。
- その他調査結果につきましては、下記照会先までご連絡ください。

照会先

MS&ADインターリスク総研株式会社 <https://www.irric.co.jp/>
101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 ワテラスアネックス
TEL: 03-5296-8961 FAX: 03-5296-8941
営業企画部 営業企画グループ 高井 修平
リスクコンサルティング本部 リスクマネジメント第2部 次世代モビリティグループ 増田 藍

RM NAVI

MS&ADインターリスク総研は、リスクに強い組織づくりをサポートするプラットフォーム「RM NAVI（リスクマネジメント ナビ）」を運営しています。



<https://rm-navi.com/>